

新・新潟市水道事業 中長期経営計画

～新・マスタープラン～

平成27年度～平成36年度

平成27年3月

新潟市水道局

(巻頭言)「策定にあたって」

新潟市水道事業管理者
水道局長 元井 悦朗



本市の水道事業は、明治43年10月1日に通水を開始して以来、これまで5回にわたる拡張事業を重ね、公衆衛生の向上や生活環境の改善など、都市を支える社会基盤として、重要な役割を果たしてきました。この間、平成17年の広域市町村合併を経て、政令指定都市として歩み始めた平成19年4月からは、計画期間を平成26年度までの8年間とする「新潟市水道事業中長期経営計画」に基づき、着実に事業運営を進めてきました。

この計画期間においては、合併により引き継いだ浄配水施設の統廃合を進めるとともに、水道施設の統一的な機能強化を図りました。

しかし、今後の水道事業を取り巻く環境は厳しさを増していきます。少子化による急激な人口減少により、水需要が減少するなかで、老朽施設の更新需要増加に適切に対応しながら、震災対策の強化など、水道システム全体の強靱化を進めていく必要があります。

本市では、これらの諸課題に的確に対応し、水道事業を高めていくために「新・新潟市水道事業中長期経営計画」（平成27年度～平成36年度）を策定しました。新たな計画には、本市水道の将来像を示し、それを実現するための方向性と施策を、厚生労働省が策定した「新水道ビジョン」に沿って設定しました。

今後は、事業規模の適正化、事業運営基盤の強化に重点的に取り組み、この計画を着実に実行することにより、安全でおいしい水道水を安定供給し、「すべてのお客さまに信頼される水道」の実現を目指していきます。

平成27年3月

目 次

巻頭言「策定にあたって」

第1章 計画の策定趣旨と位置づけ

- 1. 計画の策定趣旨 - 1 -
- 2. 計画の位置づけ - 2 -
- 3. 計画期間 - 3 -
- 4. 需要予測に基づく基本計画 - 3 -

第2章 現状と課題

- 1. 水道事業を取り巻く環境の変化 - 4 -
- 2. これからの水道事業の課題 - 8 -

第3章 基本理念と目標設定

- 1. 基本理念..... - 15 -
- 2. 目指す方向性..... - 16 -
- 3. 目標設定..... - 17 -

第4章 施策の概要

- 1. 施策体系..... - 20 -
- 2. 施策の概要..... - 23 -

第5章 投資計画と財政計画および財政収支試算

- 1. 投資計画..... - 45 -
- 2. 財政計画と財政収支試算..... - 47 -

第6章 進捗管理 - 51 -

新潟市配水系統図 - 53 -